

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	公益財団法人 新日本フィルハーモニー交響楽団
公演団体名	新日本フィルハーモニー交響楽団

内容
<p>まず事前に指揮者の動画を送付し、授業等で指揮者の動きや役割などについて研究しておいてもらう。そしてワークショップ当日には、本公演で行う<u>指揮者コーナー</u>(4名程度の生徒で指揮のリレー(2回で8名程度)をするコーナー)のための事前練習を、ピアノ伴奏と数名の弦楽器・管楽器のメンバーで行う。ここでは実際に指揮者による指導を受け、指揮をする生徒だけでなくどうしたら上手くオーケストラを鳴らすことが出来るかクラスメイトと共に考え、実践する。</p> <p>事前に送付した資料から各生徒が指揮には何が必要かを考え、ワークショップの間ではその疑問を実際に指揮者にぶつけ、そのやり取りや実際に指揮する中で音楽がどういうものかを実際に感じ取ってもらい、よりよい音楽にするためにはどうしたら良いか、自発的にまたそれぞれが協力しながら答えを見つけていく過程で、自然と音楽への興味が深まるように期待したい。リラックスして楽しんで頂くことを優先し、演奏の楽しさを五感で感じられる場を提供する。特別支援学校での演奏経験を踏まえ、TV等普段聴き馴染みのある楽曲を多く取り上げ、緩急織り交ぜたプログラムで飽きがこないような工夫をした。</p> <p>感染症の状況によって、指揮者コーナーは行わず演奏のみの場合も検討している。</p>

タイムスケジュール(標準)				
到着	リハーサル	ワークショップ	終了・本公演打合せ	退校
8:00	9:00～ 10:00	10:00～ 11:30	11:30～ 12:30	12:30

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
演奏者5名 スタッフ1名

学校における事前指導
<p>事前に送付するオーケストラを指揮している指揮者の動画をクラスや学年等で鑑賞してもらい、オーケストラや音楽についての興味関心を高める。その上で指揮者の動きの意味・役割について意見を出して話し合ってもらい、体の動きに関連してどのような音が鳴っているのか、どのタイミングで合図を出しているのかなど、気が付いたことをピックアップし、自分たちならどのように指揮をするか話し合ってもらい、また、ワークショップでは実際に指揮者に質問できるため、疑問に感じた点もまとめておいてもらう。</p>

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	公益財団法人 新日本フィルハーモニー交響楽団
公演団体名	新日本フィルハーモニー交響楽団

演目	
J.ウィリアムズ:スター・ウォーズより「メイン・タイトル」	(6分)
久石譲:オーケストラ・ストーリーズ「となりのトトロ」より、「さんぽ」ほか抜粋	
*楽器紹介	(15分)
マスカーニ:カヴァレリア・ルスティカーナ間奏曲	(4分)
ベートーヴェン:交響曲第7番イ長調 op.92 より、第1楽章	(11分)
休憩	(10分)
<指揮者コーナー>	
ドヴォルザーク:スラブ舞曲集第1集 op.46 より、第1番ハ長調	(15分)
アンダーソン:トランペット吹きの日	(3分)
学校校歌	(4分)
外山雄三:管弦楽のためのラプソディ	(7分)
アンコール) ロッシーニ:ウィリアム・テル序曲(スイス軍の行進)	(3分)
公演時間(約95分、お話し含む)	
※感染症拡大防止のため、演奏曲を数曲抜粋または削除・指揮者コーナーを割愛する可能性があります。	

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください	
指揮者	1名 未定
司会	1名 未定
オーケストラ	61名
スタッフ	9名
合計72名(予定)	

タイムスケジュール(標準)						
到着	仕込み	リハーサル	本公演	内休憩	撤去	退出
09:00	09:00～ 10:30	11:30～ 12:30	14:00～ 15:30	10分	15:30～ 16:30	16:30

実施校への協力依頼人員

- ・ワークショップ、本公演の打合わせ、当日の進行の確認(1名)をお願い致します。
- ・本公演時の生徒席の設営や撤去について、お手伝いをお願い致します。
- ・本公演時の奏者控室のご用意、カーテン等が無い場合は着替えのための目張り(新聞紙や模造紙等)をお願い致します。控室や体育館への案内表示をお願い致します。

演目解説

①J.ウィリアムズ: スター・ウォーズより「メイン・タイトル」

演奏会の幕開けは、40年以上にわたって全世界で愛されるハリウッド映画の金字塔から。疾走感・迫力のある曲で子供達の興味を引き付けます。

②久石譲: オーケストラ・ストーリーズ「となりのトトロ」より、「さんぽ」ほか抜粋*楽器紹介

子供たちおなじみのトトロの「さんぽ」にのせてオーケストラの各セクションを取り上げて楽器紹介を行います。個々の楽器に注目して頂くことで、後半の演目においても楽器の特性や人数、配置によって生み出される演奏の奥深さを感じて頂きます。

③マスカーニ: カヴァレリア・ルスティカーナ間奏曲

オーケストラは大人数で華やかに演奏するだけではなく、繊細で優しい音色を表現することも得意としています。有名な歌劇の間奏曲にのせて、少ない楽器で美しくも儂い旋律を奏でる、オーケストラの別の一面を知って頂きます。

④ベートーヴェン: 交響曲第7番イ長調 op.92 より、第1楽章

大人気アニメ「のだめカンタービレ」のオープニングで有名な交響曲第7番第1楽章。先ほどの曲とは打って変わって、その鮮やかな音楽の広がりを感じて頂きます。コンサートホールさながらの雰囲気オーケストラの醍醐味を味わって頂きます。

⑤<指揮者コーナー>

ワークショップで学んだ指揮をここでついに生徒自身に披露して頂きます。指揮をするのは実際のオーケストラ。ワークショップの時とは比べ物にならない音圧とその音楽の広がりを目一杯感じ取って頂きたいと考えております。また、クラスメイトが実際に指揮をすることで見ている生徒も一層興味を持った音楽体験が出来るはずです。

⑥ドヴォルザーク: スラブ舞曲集第1集 op.46 より、第1番ハ長調

もともとピアノ連弾用に書かれた曲ですが、オーケストラの厚みと迫力を生かしたドヴォルザーク本人による編曲版を聞いて頂きます。ボヘミアの民俗舞踊で独特な拍感と、華やかで熱狂的な音楽に生徒さんたちも集中して頂けると思います。

⑦アンダーソン: トランペット吹きの休日

運動会などでおなじみのトランペット吹きの休日を演奏します。生演奏ならではの迫力と疾走感について体が動き出してしまいそうな曲目となっています。

⑧学校校歌

いつもピアノ伴奏で歌っている校歌をオーケストラによる編曲で演奏します。聞きなれた音楽がどのように変化しているのかを楽しんでください。

⑨外山雄三: 管弦楽のためのラプソディ

クラシック音楽は西洋の文化を発祥としていますが、現在では日本の優れた作曲家の作品も頻りに演奏されています。日本を代表する指揮者/作曲家である外山雄三による本作は、日本の童歌や民謡を素材に作られたとてもユニークな作品です。拍子木、鉦、締太鼓、チャンチキなど、様々な日本の打楽器が複雑に絡み合ったリズムに乗って「手まり唄」、「ソーラン節」、「炭坑節」などの伝統音楽がオーケストラによっ

て次々に演奏されていきます。

⑩アンコール) ロッシーニ:ウィリアム・テル序曲(スイス軍の行進)

演奏会ではアンコール曲も楽しみの1つです。ロッシーニ作のウィリアム・テル序曲より「スイス軍の行進」で、迫力あるトランペットのファンファーレと疾走感のある曲で、子供たちに最後まで興味津々に楽しんで頂けます。

※感染症拡大防止のため、演奏曲を数曲抜粋または削除・指揮者コーナーを割愛する可能性があります。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

(・指揮者コーナー)

1曲の中で4名程度の生徒で指揮のリレーをして(2回で8名程度)、クラス対抗などゲーム性を取り入れる。どうしたらオーケストラを思うようにコントロール出来るかなどクラスのみinnで話し合い、協力する中で音楽の理解を深めてもらう狙いがあります。

・学校校歌

普段おそらくはピアノ伴奏でしか歌うことのない校歌を、予めオーケストラ伴奏に編曲し、様々な楽器の音色と迫力を感じながらハーモニーの素晴らしさを感じてもらいます。

児童生徒とのふれあい

聴き馴染みのある楽曲であることと、クラシック音楽を体現する素晴らしい作品を取り上げることを意識して選曲した。曲間にお話も交えることで、初めての体験であっても抵抗なくオーケストラの演奏に触れることができる。緩急様々な楽曲を配することで、迫力ある響きや繊細な音色を自在に操り、主役にも脇役にも成りうるオーケストラの多面的な魅力を表現したい。また、指揮体験や校歌の編曲を聞いて頂くことでオーケストラとの一体感を持って頂き、音楽を介した相互の交流を図りたい。本公演においては、楽器紹介や共演等様々な切り口から、オーケストラの魅力を体系的に理解して頂くことを目指している。